

## 南大泉図書館 図書館利用者懇談会

1. 日時 令和5年10月28日(土) 14時～15時8分
2. 場所 南大泉図書館 2階 青少年館和室
3. 出席者 利用者 5名  
図書館 4名  
(南大泉図書館長、館長代理  
日本コンベンションサービス株式会社 2名)
4. テーマ 「南大泉図書館に期待する図書館サービスについて」
5. 配布資料 (1)南大泉図書館に期待する図書館サービスについての概要  
並びに過去のご意見
6. 次第 (1)南大泉図書館長挨拶  
(2)図書館概要説明  
(3)懇談  
(4)南大泉図書館長挨拶

### 南大泉図書館利用者懇談会 会議録

#### 1. 南大泉図書館長挨拶

本日はお集まりいただきありがとうございます。

南大泉図書館長です。

本日はテーマを「南大泉図書館に期待する図書館サービスについて」といたしまして、皆様に色々なご意見を伺いたいと思います。

#### 2. 図書館概要説明

お手元の冊子をご覧ください。

事業や展示等につきましては冊子にあります内容を中心におこなっているところがあります。

今年の5月から新型コロナが5類となったこともありまして、南大泉図書館のサービスを拡大しているところでございます。たとえば座席を増やしたり、ブックポストも24時間開いたままにしておいたりなど、サービスの向上に努めています。

#### 3. 懇談

**図書館** 皆様が普段利用されていて、こんなところを工夫したほうがいいのか直した方がいいというところはございますか。

**利用者** 何個かありますが、簡単なところから。

トイレにウォシュレットはなぜ付けないのですか。2階も今見たらついて

いないので。大泉学園はついています。

**図書館利用者** ウォーム便座には直したのですが、それよりウォシュレットをつけて欲しいです。安いので良いので。

**図書館利用者** 検討させていただきます。

僕は 6 丁目ですが、5 丁目にあった出張所のところに、やり取りできるブックポストを設置してほしいです。

**図書館利用者** 図書館窓口のようなところですね。

私の場合、大泉図書館か南大泉図書館に行くのですが、今は自転車に乗って来られるのでよいが、自転車に乗れなくなったら困る。あの地区にはないので。これが一番いいかったことです。

あと、色々なものが令和表記ですが和暦がわからなくなってきたので、西暦での表記をお願いしたいです。もしくは併記にさせていただくとわかりやすいです。平成になってからまったくわからなくなっています。

**図書館利用者** 確かにこのところ入れ替わりがありますね。検討いたします。

昭和ならわかるのですが。

それから区役所の方にもお願いなのですが、今図書館管理を外注していますよね。元々の区の直営に戻してもよいのではないかと思います。区の直営でも 3 年位で変わっていくかとは思いますが、連続性がないからその区の特長とかがわかっていないのでは。図書館は知的な財産の場所なので入札などお金の安い高いで決めるのでは相入れないのではとも思います。そういうところは区の方に考えていただければと。職員の方も継続性を確保できないだろうし、身分的な安定もないのでは。開館時間を延長するのではなくて、長く行うためにはいいのではないかと思います。

**図書館利用者** ご意見ありがたく頂戴いたします。

私は同じ地域の地域包括支援センターからやってまいりました。当センターは 4 月に開いたのですが、地域包括支援センターの立場からと個人的に図書館を利用することも多いので両面から述べさせていただきます。

包括としての使命としては介護が必要になっている方、あるいは困っている方のご相談を受けるというセンターになります。直接ご相談に来ていただければよいのですが、この地域も高齢者の方が多く困っているという自覚がないまま生活されている方も多いかと思います。実は南大泉図書館さんとは、こういう困っている方がおられるのですよというご連絡をいただいて、関わらせていただいているという経緯がございます。そういう意味で地域みんなで支えているという連携を今後もさせていただきたいと感じています。

私自身は 4 月からこの地域にかかわらせていただいて、まだよくわかっていない部分もありますので、以前からいる職員にこの図書館のことを聞きました。2 階のホールは体操教室で使用しておりますので足を運んでいます。今の体制になってから、飾り付けが見やすくなって、人に対するアピールが変わったとの印象を持っているとの声を聞きました。私もここの活動を見させていただきましたが、

高齢者向けのスマホ教室ですとか、寄席のイベントなどが目につきました。ここに来ればこういう催しがあるという部分では集える場所という機能は整っていると思います。

私自身もこの地域に住む高齢者の方と直接接する機会があって、今は公的なサービスだけでなく気軽に使えるサービス、お金がかからないサービスも活用していただいて、ここに住んでいる方が自分の住み慣れた地域で自分の生活をしていくというのが私共の使命であると感じています。

たとえば、図書館に行かれたらどうですかというお話をすると、以前は行けていたが足腰が弱くなったとか、特に今年の猛暑でお亡くなりになった方もいらして出かける機会が難しいとか、デイサービスを利用するほどではないという方もいらっしゃいます。そういう時に図書館などの公共施設が受け皿になっていると思います。

提案はできませんが、高齢者の方が気軽に利用できる施設で、ただ来るだけでなくコミュニケーションをとれるということが高齢者の方の生きがいとなりますので、そういったサービスを望んでいます。

個人的な図書館の利用は、調べ物でインターネットの予約で横断検索などをして本の予約をしています。練馬区外の本もここで受取を希望すれば仕事帰りに受け取ることもできますので、図書館の利用というよりは図書館のサービスを利用しています。学生の頃に比べたら広い範囲で本が探せており、隈なく図書館があるということはとても感謝しています。

**図書館**      ありがとうございます。今後とも連携を深めていきたいと思います。

**利用者**      私はすぐそばに住んでいます。

図書館は本に親んでもらうというのが大きな役割で、そのためにまずは来てもらう取り組みが必要だと思います。待っているだけではだめで、図書館の方から色々なところに出向いて図書館の活動を知ってもらうことにより、図書館に行こうと思ってもらえるのが大事です。

私は正直図書館に来て本を読むとかはあまりありません。家内はネットで予約受取をしています。ただ図書館が素晴らしいと思うのは、色々なイベントを開いているということ。今日の資料にもありましたが、「英語音読を楽しむ」もしょっちゅう来ていますし、「南大泉寄席」も楽しみにしています。前は参加できませんでしたが、4、5回は来ています。またその時に関係する書籍を紹介してくれ、私の場合は買ったりネットで注文したりしています。そういう図書館の活動が素晴らしいと思います。

もう一つは、先日も大泉六小で地区祭のイベントがあったのですが、そこに図書館に来ていただいて一日中子どもたちとかかわってくれました。11月にはまた地元のフリーマーケットのイベントがありますが、そこにも来ていただく予定です。

私は、最初「図書館はそんなことまでやるの」と、逆にびっくりしたのです。子どもたちに紙芝居などをやってくれることによって関心をもって、じゃあ図書

館にも行ってみようと思ってもらえればいいのかと。それに気が付いたのは今から4、5年前ですが、多分この図書館が民間委託になってからじゃないかと思いません。それで驚いたのです。それまではやってないので、私も実態を知る前は民間委託というのは図書館の質がさがってしまうんじゃないかと正直思いました。今は図書館がやることを広げて子どもたちや地域のためにやってくれることはすごく素晴らしいなと思います。今回も継続されて、同じように続けてくれるのだなと私はそういう意味でよかったです。いつも掲示板を写真に撮ってフェイスブックに載せて広めています。担当の人は大変だと思いますが、毎月飾り付けが工夫されています。今回はすこし地味ですが。フェイスブックに載せると結構「いいね」がもらえます。掲示板でイベントなどの告知をするのは大事じゃないかと思いません。役所仕事のでない創意工夫を凝らした仕事は地元に住んでいる人間として応援したいです。

**利用者** 地元の南大泉ハイムガーデンから来ました。図書館からはおはなし会に来ていただいて入居者の方はとても楽しみにしていますので、すごくありがたいです。もう一つ今年はリサイクル本をみつろって持ってきて下さって、それが本当に助かっています。本を読みたい方が多くいらっしゃるの。今までも職員が読んだ本を持ってくることはやっていたのですが、なかなか集まらず、種類も広がらないので定期的にいただいているのは本当にありがたいです。重いのにこの間もありがとうございます。一階と二階の本棚にそれぞれ分けて置いて一通り読んだら一階と二階を交換します。本をお好きな方は選ぶ楽しみもありまので、楽しんで本を読んでいたいています。

あとはこちらのイベントに参加させていただいたりしていますが、移動図書館はあるのですか。

**図書館** ないです。

**利用者** 図書館まで少し距離があるのでここまで来るには車が必要ですが、施設の車がないので毎月来ることがかなわない状態です。移動図書館という形で来ていただいたら本を好きな方がたくさんいらっしゃるののでできたらいいなと思います。以前三鷹の特養で働いていて、そこは移動図書館があり、通園バス位の大きさの車が月に一回来てくださって、そうすると館内放送で本が来ましたと流すと車いすの方も喜んで、本来図書館に行けないと思っていた方も、車椅子ごと中に入って見ていただいて、貸出カードも個別に作っていただき貸出もその時にしてもらってました。それがあつたらすごく嬉しいなと思います。今持ってきていただくリサイクル本ももちろんと本当にありがたいです。自分で選んで読めるのは本当に喜ばれているという印象があります。

行っているイベントを伺って、図書館ってここまでされているんだと思い、もっと懇意にさせていただきたいと改めて思いました。

**図書館** 色々なご意見をいただいて参考にしたいことばかりでした。なるべく幅広い世代の方に事業なども行っていきたくて思っております。具体的にどのような事業が良いと思われませんか。

**利用者** この図書館ができる前は確か移動図書館があり、交通公園の前にも止まっていたと思います。どのくらいの頻度で回っていたかおぼえていませんが。ちょうどここができた頃になりました。

ここの図書館の特色はなにかあるのかなと思いますが。たとえば大泉図書館だったら、あそこは藤沢周平が住んでいたところなのでコーナーがあります。ここはなにか特色がありますか。

**図書館** この図書館の特色は青少年マンガなのです。

**利用者** そうですか。牧野富太郎は大泉かな。

**利用者** マンガでしたら『ゴールデンカムイ』などの話題の本も取り揃えてはどうでしょうか。その特色をもっとふやせばいいのでは。

**図書館** 所蔵していますが、積極的に話題の本を取り入れたいと思います。

**利用者** この地域の特色に合わせた図書館になっていけばよいのではないのでしょうか。昔だったら農地が半分位あったんだけど大分環境が変わってきてしまって。

**図書館** それでも東京都 23 区でここまで農業をしているというのは珍しいと思います。農業はこれからの図書館構想でもいわれているように練馬区のテーマにもなっていますので、もっと事業に反映させたいと思います。

**利用者** 年々相続の関係で段々なくなっていくのですが。代わって老人福祉施設が増えているというのも事実ですね。広い駐車場で野菜の即売会などはどうでしょうか。

**利用者** 場所を提供して人を寄せるという意味でいいかもしれませんね。

**利用者** 全世代に満足していただく特色というと「食」とか。この図書館に行ってこの分野は詳しいと思っていただけるようなものですよね。話題になる図書館というところとツタヤと組んでいるとか、建物がすごいとかですよね。こちらも複合施設なので二階のフロアを活用してなにか事業を行うのはどうでしょうか。若い世代の方が高齢者の福祉を理解できるきっかけがあれば思っています。その際子育て世代のお父さんお母さんが来てもらい、それを通じてお子さんがおじいちゃんおばあちゃんのお世話を自然としていく意識を持ってもらえるようになれば。図書館の場合は知の財産である本を通しての活動ですが、ネット全盛の時代で、本がリアルにそこにあるというのは違いますので、やはり足を運んでいただくのは重要です。

**図書館** 先日の地区祭で地域支援センターさんのブースで電動車椅子に乗ったのですが、とても工夫されており、これを青少年の方に体験していただくのも理解につながると思いました。そういったものも事業に活かせればと思います。

**利用者** そういう意味では本という形にこだわらず、情報の集積地としての役割としては重要で、南大泉図書館はこんなことをやっているという地域のみなさんで考えていくのもよいと思います。

**図書館** 興味を持ってもらうのも重要ですね。

**利用者** 興味を持つきっかけにはなると思います。図書館は資料もいっぱいあるので。SDGs のコーナーもありますが資料紹介だけでなく、それらを体験型にしていけ

ると事業も広がるのではないのでしょうか。介護も車椅子の体験を通じて気づきがあるでしょうし、ヤングケアラーさんのこととか、資料があるだけで他とはスタートラインが違うと思います。私共の場合はまず資料集めから始めるので。トレンドを拾っていき、実現に繋げるためにどんな団体に声掛けするかは、例えば介護だったら包括の方や私たちに声掛けをしていただいてもよいですし、地域に密着した活動をするることにより、面白いためにはなる図書館だと思っていただけるのではないのでしょうか。

- 利用者** この図書館と分室の連携はどうなっていますか。  
たとえばここだけだったらなかなかスペースが限られていますから、分館も使ったのコーナー作りは可能ですか。
- 図書館** 分室とこちらの違いは、所蔵の本の対象年齢が違いまして、分室0～8才までの本を所蔵しています。南大泉にも「あかちゃん本」等は置いていますが、分室はその年齢を想定して置いています。こちらは小学校中学年から上の本を置くようにしていますので、区分けは行っています。
- 利用者** 分室はスペース的な余裕はあるのですか。
- 図書館** あまりないです。こぢんまりとしています。独自にテーマを決めて事業や展示を行っていますが、分室の事業でスペース的な余裕がない場合は青少年館の和室やホールを使用することもあります。
- 利用者** 高齢者のことがお話に出ましたが、今若い人とどう取り組むかということではにかかれていますか。学校との連携はされていますか。難しいとは思いますが。
- 図書館** 学校の先生方にお聞きすると、コロナの影響でお金に余裕があるのか、本を買っているとおっしゃっていました。特に人気の本は手に入らないということもあります。図書館だけでなく学校図書館でも同じようです。あるいはデジタル書籍を読んでいるようです。少しでも興味をもってもらえるような青少年のトレンドを展示などに取り入れていきたいと思っています。
- 利用者** 本屋さんではできないことをやってほしいです。
- 利用者** 本屋さんはどんどんなくなっていますね。いまあるのは大泉のジュンク堂くらいじゃないですか。本に接するのは図書館位になっているような。
- 図書館** その部分で図書館は貢献していきたいです。もう少し増やしたいと思われる分野の本ですとか、もっとこういう本があったらいいのではないかとかございますか。
- 利用者** ネットで練馬区内の他の図書館、たとえば光が丘図書館などに欲しい本があれば取り寄せてしまうので特にこれが欲しいとかは感じません。全体の中では問題なくあると思っています。それでもなければ今は他の区から取り寄せもできるので。皆さんそういう使い方になっていると思います。ただネットを使わない人にとっては困るのでは。
- 利用者** そういう意味ではご相談には乗っていただけるんですか。
- 図書館** レファレンスのコーナーがございまして、そこにご相談いただければお探します。

**利用者** 図書館に行ってこんなこと聞いたら恥ずかしいという気持ちがあると思います。まして窓口というと敷居が高く感じるので、身内に聞いたりネットで引いたり、現実には難しいとは思いますが。特に高齢者にとっても。図書館の職員というと専門職でもあるし、こちらはちょっと引いてしまう部分があります。相談しやすい雰囲気づくりをしていただきたいと思います。ちょっとでも変わるとそういう噂はすぐに広まります。相談したらとても良かったと聞いたらじゃあ私も行ってみようときつとなります。

あと本の分類ですが、やたら硬いので、もう少しイラストも含めて分かりやすい表現で表示してもらえると、探すのも楽しくなるのでは。探したり調べたりは好きですが、あれこれどこにあるのかなど思ったりもするので。聞けば教えてくれて本棚まで案内してもらえて、相談にも乗ってくれてこんなのですかと、そこまでやってくれたからそれはそれでよかったんですけど。もう少し難しい分類をどうにかできればいいのという気持ちがあります。分類には規則があるのでしょうからあまり勝手にすることはできないでしょうが。ある期間だけこんな探しやすい方法があるんですよという展示があるといいなと思います。

**利用者** 広報（区報）に、本を置いてほしいとかの希望をのせるのはどうですか。もしかしたら子どもからの声を聞くこともできるかも。図書館でなければ購入できない貴重な本を見る機会になるかもしれないし。広報はみなさんよく読まれるのでそれに何か載せるのもあります。懇談会で聞くのも大事ですが広く皆さんから聞くには広報が良いのでは。

**図書館** アピールの方法を考えたいと思います。

**利用者** 図書館ホームページですが、いかにも区役所のホームページという形でとつきにくいと思います。

たとえば区ではなくそこに入っている団体で作るホームページだと違ったりするので、見る人の立場に立ってホームページを作るとまた違うと思います。

その辺が、各図書館のオリジナルを出せるかが大切だと思います。もう少し工夫がほしいです。ホームページはアクセスしてもらってなんぼなので。

役所との関係で難しいとは思いますが。区報なども昔から比べるとすっかり変わっていますので、実績を作って声をあげれば変えられるのでは。私も言いながら、また図書館の仕事が増えちゃうと思われているかなとは思いますが。今ネットは大事なツールの一つになっているので、そこから図書館の良さを広げ、良くなるような声を拾うのは大事です。

**利用者** 検索ですが、タイトルなど一字一句違ふとだめなので、類字位だったら出るようにしてほしいです。普通の検索エンジン（Google）だと出ますよね。そのようにやってもらえると嬉しいですね。

宮藤官九郎の宮藤が工藤だともう出ませんよね。設計上負担はないのでは。

（昨年の利用者アンケートのご意見を見て）「第四月曜日も開館日としてほしい」というのはどういう意味ですか。

**図書館** おそらく第四月曜日以外の月曜日は他の図書館でどこかが開いているのですが、

第四月曜日だけは全館休みなので、こういう意見があったのだと思います。

**利用者** 以前、月曜日は基本休館だったので、そこまではいいと思います。デパートだって休みはありますからね。

**利用者** 職員の人達の休みはどうなっているのか心配してしまいます。

**図書館** 貸出履歴を見られるようにしたいというご意見はいかがですか。

**利用者** 今は「今度読みたい本」に入ればそれが代わりになるのでいいですが、忘れちゃうとあれなんだったかなというのはあります。

**利用者** 履歴を残すというのが今はプライバシーの観点から問題ですので、残さないでよいかと思います。

**利用者** これは自分の貸出履歴ということですか。その本が今何人待ちになっているかとかそういう貸出履歴かと思いましたが。

**利用者** それは今検索したらネットでみるのが出来ます。

**利用者** 私はホームページは見ないで横断検索だけをやっています。ネットニュースなどで興味を持った本を東京都の横断検索で探して借りられるところから借りています。ホームページはどちらかというと事業の部分で見るとよいのかなと思います。

それから話題になっていることの特集や事業を行うとよいと思います。たとえばキャンプが流行っていたらキャンプ関連の事業を行うとか、それを目にすることによりちょっと山に登ってみようかと感じるだろうし、図書館に来たからこそこの出会いがあるかもしれません。ここはセンスが問われますね。

**図書館** 図書館でも普段から色々な情報にふれて、新鮮なトレンドをお届けしようと思っています。

**利用者** 今回、「図書館だより」を見て参加したのですが、もう少し広げていただけたら人が集まるのではないのでしょうか。普段からこれくらいの集まりかたでしょうか。それとも応募者多数で抽選でしょうか。

**図書館** 告知がまだ不足していますので、もっとみなさんに幅広くアプローチしなければならぬと感じています。

**利用者** 事業が終わった後にその報告がされているのがすごいです。事業の告知というのはどこでもやっていますが、こんな事業をやりました、参加人数は何人でした、こんな声をいただきました、と報告してもらえるのは、他を見ても少ないと思うのでとても良いです。それを見ることによってこんな事業をやっているんだ、じゃあ今度行ってみようと思うものなので。募集だけでなく報告もとても大切な広報になりますので、今後も頑張ってやっていただければと思います。

**利用者** 毎年アンケートをやっていますが、毎年どんな要望があるのですか。

**図書館** 「福袋」のような企画をやってほしいという要望が多いですね。中身の分からない本を、テーマだけを外に表示しセットにして貸し出すというもので、思いがけない本との出会いがあると好評です。南大泉でもひろばでも年に一回行っていますがもう少し数を増やしてもらえないかとの声をいただいています。

後は年一回「終活講座」を行っていますが、それを増やしてほしいとの意見を



いただいています。今の世代構成がアンケートにも反映されていると感じます。

**利用者** 「終活講座」というと講師の方は？

**図書館** 行政書士会練馬支部の行政書士の方に来ていただいています。終活というところでも法的な側面がからみますので行政書士の先生から、たとえば遺言状や埋葬のことなど老後の問題として使える行政のサービスなどをお話いただいています。アンケートにその要望をしていただくのはご高齢の方が多いです。

**利用者** 相続の法律上の問題がありますからね。生き方とか死の方に対する（イベントの）要望はありますか。

**図書館** 「エンディングノートの書き方」などの講座の要望はございます。

**利用者** （エンディングノートは）今、色々な人が書いていると思いますが、著者の人が話す講座があるとよいのでは。予算もあるでしょうが、この地域に住んでいる方がいいですね。

**図書館** 地元の方で来ていただける方を探していきたいと思います。

**利用者** そういうことを中心に行っている団体が練馬区にもあると思うので、有名人でなくても専門の方はいるはずで、包括や社協などでいろんな人材が見つかるので、その中で見つけた方を呼ぶのもいいかもしれません。横のつながりは大事です。区からの回覧板にもそういうイベントを見つけることができます。

**利用者** 他にどんな要望があるんですか。

**図書館** 幅広くて、いろんなところに返却ポストを作ってほしいとか、システムに関することが多く、ここが使いにくいとかの要望があります。半分近くがシステムに関することです。検索システムが使いにくいですとか内容は多岐にわたっています。たとえば「坊ちゃん」と検索画面で入力すると、たくさん「坊ちゃん」に関する本が出てきますが、一冊選んで中身を見てもとに戻ると一覧のトップに戻ってくるのが使いにくいと思っています。図書館システムの使いにくさというものをみなさん感じていらっしゃると思います。特にコロナで使う方は増えて、使うからこそその不満が出てきたと思います。

**利用者** 先ほど農業新聞を見せてもらいましたが、農に関する要望はあるんですか。

**図書館** 「大根を育てて収穫体験」という企画をやっていますが、もっとやってほしいという要望はいただいています。

**利用者** 「ねりま大根」ですか。

**図書館** 「ねりま大根」と「青首大根」を育てて比較してもらおうという体験を行っています。

**利用者** 「ねりま」よく育てられますね。

**図書館** 今年は猛暑による不作で、何年も続いている企画ですが、種まきしたものが育たなかったのは初めてです。

**利用者** やっているの知りませんでした。

**図書館** 子ども向けですが、人気ですぐに埋まってしまいます。大人向けにはじゃがいもの収穫体験があります。

**利用者** 農園を持っているわけではないですね。

図書館 交通公園の近くの農家さんをお願いしてさせていただいています。  
利用者 永井農園さん？  
図書館 そうです。  
利用者 最初にもいいましたが、交通公園の近くに窓口を作っただけであれば本当に楽なんですけどね。年寄も増えましたのでね。  
利用者 懇意にしている農家さんのところに、イベントなどの掲示をお願いしたりするのもよいと思います。農家さんがいろいろ協力してくれるよね。  
利用者 そろそろ失礼させていただきます。

#### 4. 南大泉図書館長挨拶

それではここで終わりにしたいと思います。

さまざまなご意見ご要望をいただき、これからの図書館運営に活かしていければと思います。本日はありがとうございました。